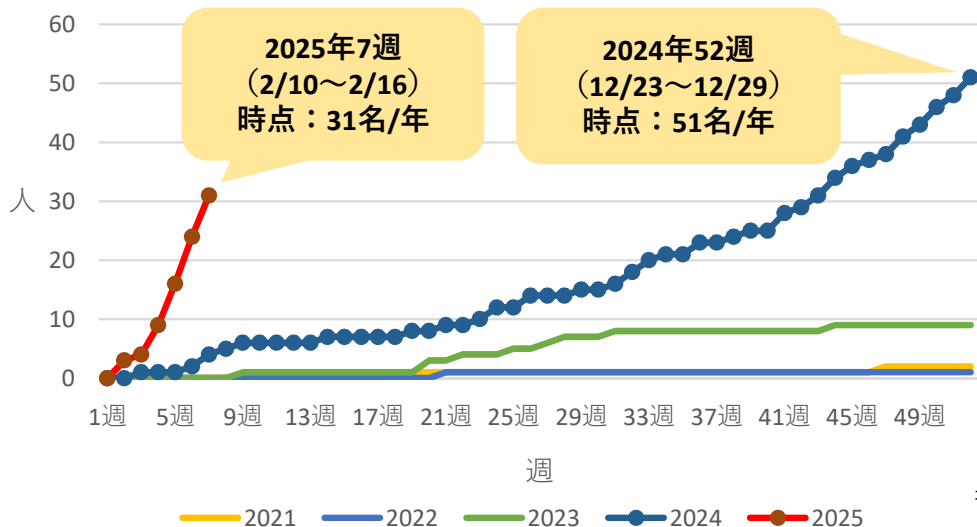


長引く咳に注意！百日咳が増加しています

◎百日咳とは？

- ・百日咳は、百日咳菌による気道感染症であり、激しい咳を伴う病気で、1歳以下の乳児、特に生後6ヶ月以下の子どもは重症化することがあります。
- ・近年、特に5歳以上10歳未満の患者の増加が見られます。予防接種歴のある方からの発症もあるので、**長引く咳がある場合は、早めに受診しましょう。**

百日咳の1年間の累積患者数の推移（2021年～）



2024年から患者数が増加し、**51名/年**の報告がありました。年齢構成は、20歳未満が約8割でした。2025年は、7週（2/10～2/16）時点で、すでに**31名**の報告があります。

参考：神戸市感染症発生動向調査週報

◎症状は？

・かぜ症状で始まり、次第に咳が激しくなります（約2週間持続）。その後、短い咳が連続して起こり、続いて息を吸うときに笛の音のようなヒューという音が出ます。このような特徴的な咳発作の繰り返しが2～3週間持続します。また、咳発作後に嘔吐を伴うことがよくあります。

※成人やワクチン接種後の感染者では、典型的な発作性の咳ではないため、見のがされやすいです。ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源として注意が必要です。

◎感染経路は？

- ・感染経路：飛沫感染、接触感染

※家庭のほか、学校などの施設でも感染の伝播がみられます。

- ・潜伏期間：通常7～10日（最大3週間）



◎治療・予防は？

治療は抗菌薬（抗生物質）による薬物療法

予防は

- ・ワクチン接種により、百日咳にかかるリスクは80～85%程度減らすことが出来ると報告されています。
- ・手洗い、うがい、咳エチケット等の基本的な感染対策

※患者の咳から感染するため、咳の症状がある場合にはマスクを着用するなどの**咳エチケット**を心がけましょう。

参考：国立感染症研究所 百日咳とは
厚生労働省 百日せき